



平成29年度第3回上下水道モニターアンケート結果について

1. テーマ

「防災対策について」

2. 概要

防災対策についての認知度等についてアンケートを実施。
設問数は16問。

3. 調査期間

2017/11/15～2017/11/29

4. 調査方法など

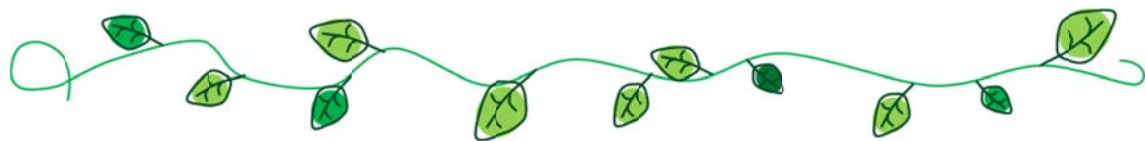
対 象：上下水道モニター494名

調査方法：インターネットを通じてアンケートに回答

回 収 率：調査対象494名に対して、

有効回収数 259名

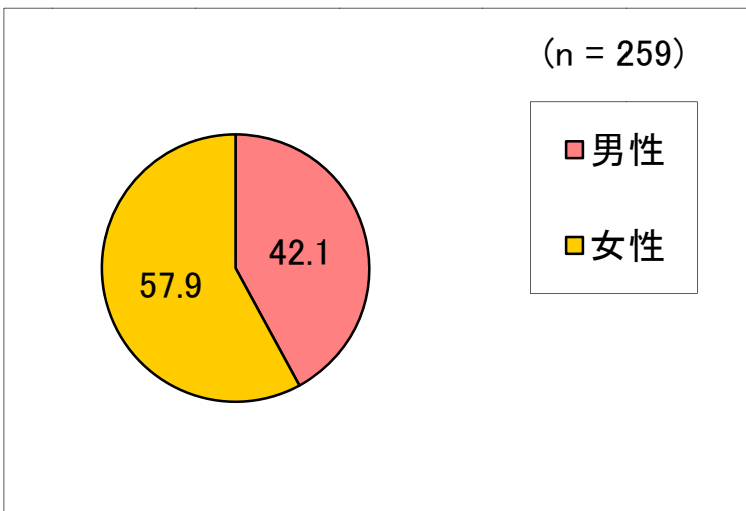
有効回収率 52.4%



本アンケートの設問は全 16 問（F S 除く）です。

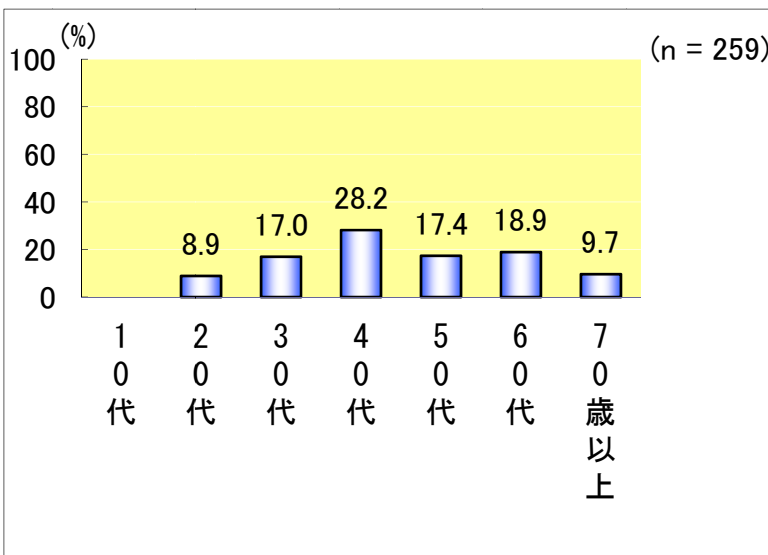
| | |
|------|---|
| F S | 性別、年齢 |
| 問 1 | 地震などの災害に備えて、主にどのような方法で水の備蓄をしていますか？ |
| 問 2 | 問 1 で 1～4 をお答えいただいた方に伺います。何日分の水を備蓄していますか。1 日あたり一人 3 リットルとしてお答えください。 |
| 問 3 | 災害時の備えとして、あなたのご家庭や地域で実践していることを教えてください。あてはまるものを全て選んでください。 |
| 問 4 | 名古屋市内の広域避難場所や指定避難所などには、災害時に上下水道局職員または応援協定を締結している民間事業者が仮設給水栓を設置し、応急給水を行う「応急給水施設」が設置されていることをご存知ですか？ |
| 問 5 | 名古屋市内の全ての市立小中学校には、災害時に地域の皆さまが自ら操作してご利用いただける「地下式給水栓」や「下水道直結式仮設トイレ」が設置されていることをご存知ですか？ |
| 問 6 | ご自宅や職場近くの「応急給水施設」「地下式給水栓」「下水道直結式仮設トイレ」の場所をご存知のものはありますか？あてはまるものを全て選んでください。 |
| 問 7 | 上下水道局公式ウェブサイトでは、以下の防災情報をご提供していますが、ご存知のものはありますか？あてはまるものを全て選んでください。 |
| 問 8 | あなたは日々の生活の中で、水による災害が起こることに不安を感じていますか？ |
| 問 9 | あなたが日々の生活の中で不安に感じている水に関する災害や問題はなんですか？あてはまるものを全て選んでください。 |
| 問 10 | 地震等の災害が起きた時、上下水道に関してあなたがもっとも心配しているのは次のうちどれですか？最もあてはまるものを一つ選んでください。 |
| 問 11 | 地震等の緊急時に対し、普段どのような水の備えをしていますか？あてはまるものを全て選んでください。 |
| 問 12 | あなたのご家庭では、地震が起きた時の家族との連絡手段や、どの避難所に集合するか等を話し合ったことはありますか？ |
| 問 13 | 上下水道事業の防災対策に関して、あなたが進めて欲しい対策はなんですか？3 つまで選んでください。 |
| 問 14 | あなたは最近 1 年間において、上下水道局の災害対策に関する情報を目にしましたか？（上下水道モニターとして得た情報を除きます。従って、メールマガジン「名水レター」で得た情報は除いてください） |
| 問 15 | 問 14 で「はい」を選択された方にお伺いします。その情報は、どのような形で目にしましたか？ |
| 問 16 | 上下水道局の防災対策に関して、ご意見などがありましたらお聴かせください。 |

■性別



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-----|-----|------|
| 1 | 男性 | 109 | 42.1 |
| 2 | 女性 | 150 | 57.9 |
| | 計 | 259 | 100 |

■年齢



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-------|-----|------|
| 1 | 10代 | 0 | 0.0 |
| 2 | 20代 | 23 | 8.9 |
| 3 | 30代 | 44 | 17.0 |
| 4 | 40代 | 73 | 28.2 |
| 5 | 50代 | 45 | 17.4 |
| 6 | 60代 | 49 | 18.9 |
| 7 | 70歳以上 | 25 | 9.7 |
| | 計 | 259 | 100 |

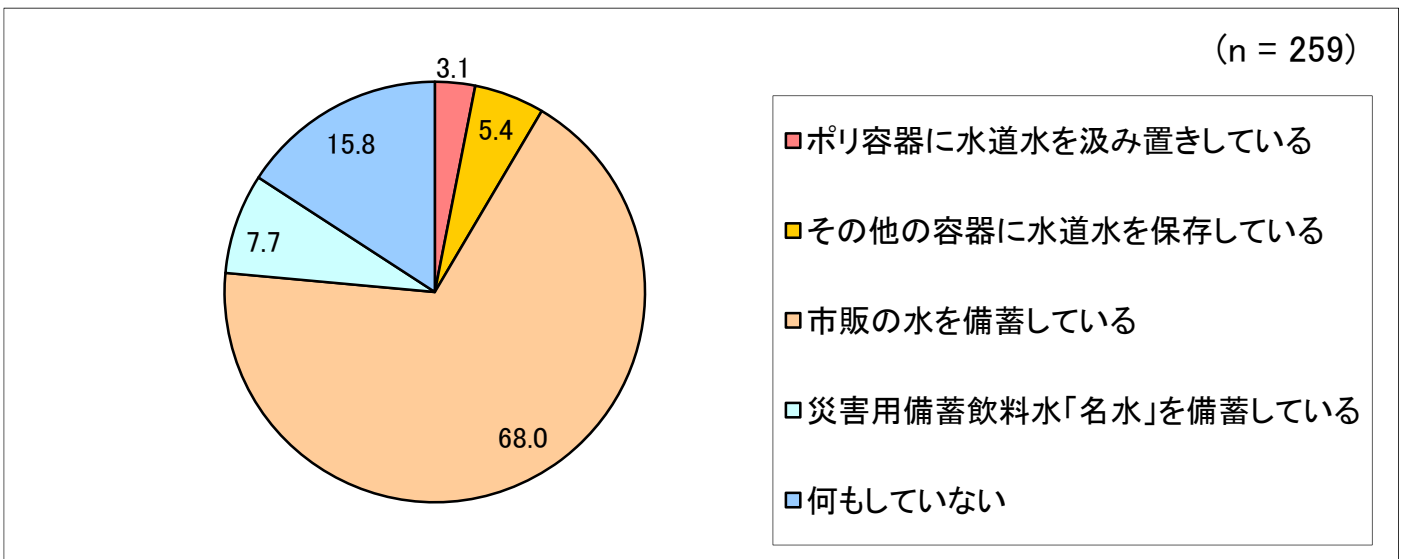
■構成比

| | 男性 | 女性 |
|-------|-----|-----|
| 10代 | 0 | 0 |
| 20代 | 10 | 13 |
| 30代 | 8 | 36 |
| 40代 | 24 | 49 |
| 50代 | 18 | 27 |
| 60代 | 32 | 17 |
| 70歳以上 | 17 | 8 |
| 計 | 109 | 150 |

アンケートにご協力いただき
ありがとうございました！



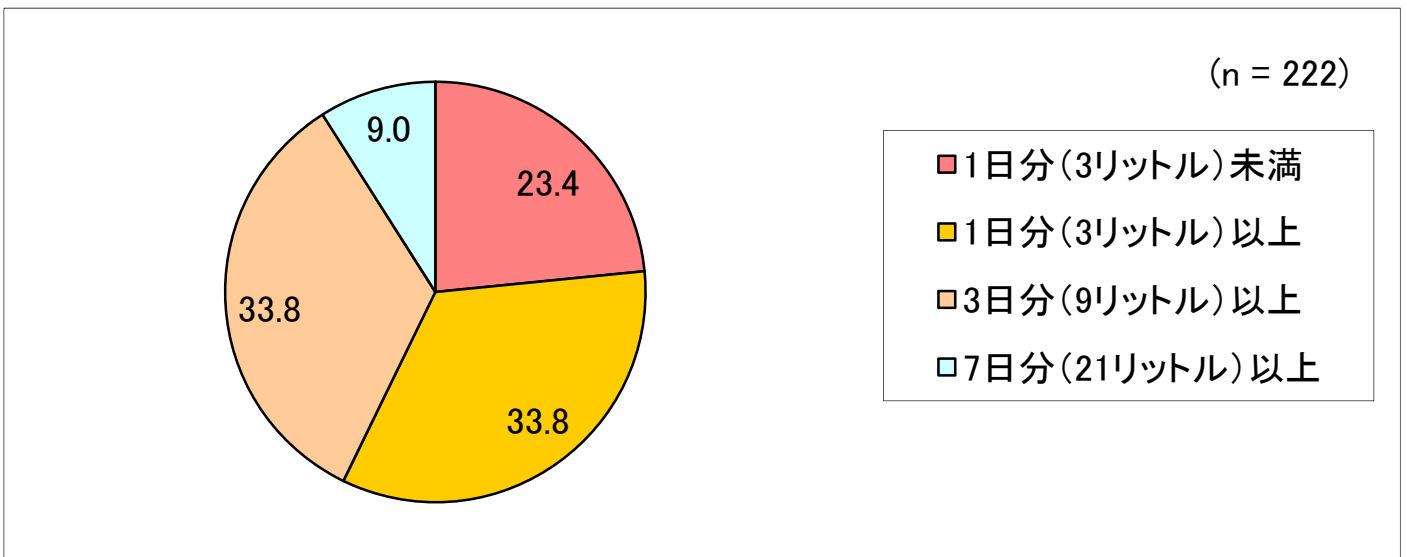
■問1 地震などの災害に備えて、主にどのような方法で水の備蓄をしていますか？



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|---------------------|-----|------|
| 1 | ポリ容器に水道水を汲み置きしている | 8 | 3.1 |
| 2 | その他の容器に水道水を保存している | 14 | 5.4 |
| 3 | 市販の水を備蓄している | 176 | 68.0 |
| 4 | 災害用備蓄飲料水「名水」を備蓄している | 20 | 7.7 |
| 5 | 何もしていない | 41 | 15.8 |
| | 計 | 259 | 100 |

最も多いのは「市販の水を備蓄している」で、全体の 68.0%でした。
 何らかの方法で水の備蓄をしている方が 84.2%いる一方で「何もしていない」との回答が 15.8%でした。

■問2 問1で1～4をお答えいただいた方に伺います。何日分の水を備蓄していますか。1日あたり一人3リットルとしてお答えください。

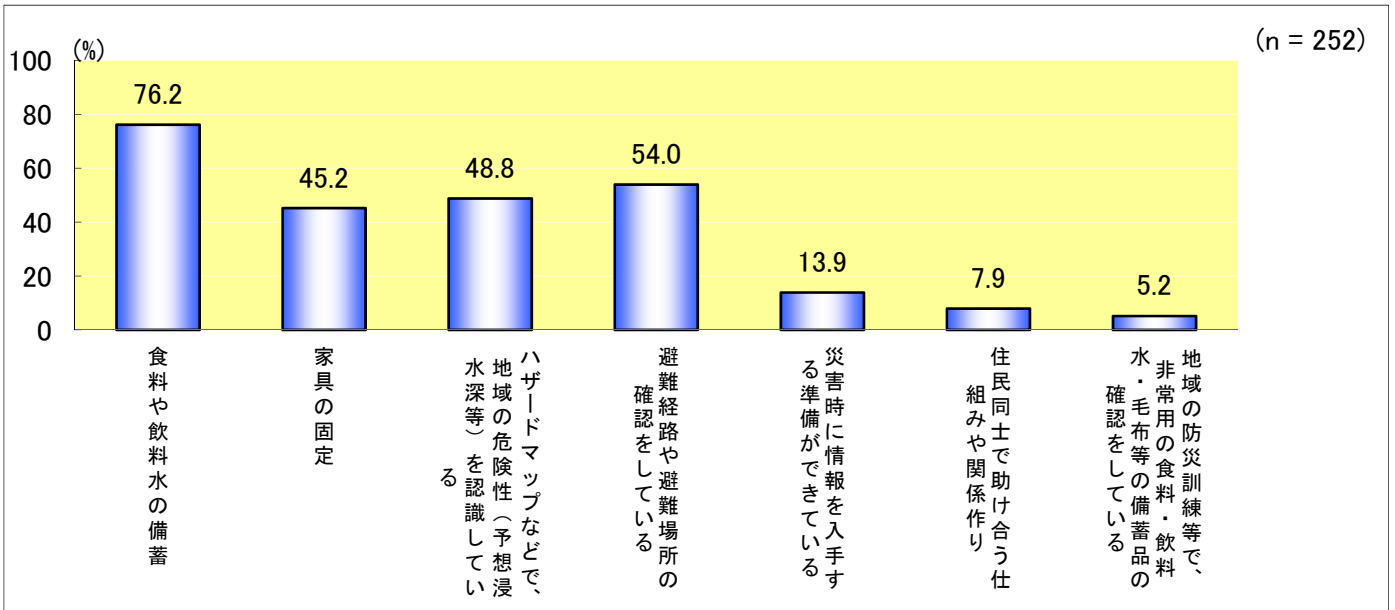


| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-------------------|-----|------|
| 1 | 1 日分 (3 リットル) 未満 | 52 | 23.4 |
| 2 | 1 日分 (3 リットル) 以上 | 75 | 33.8 |
| 3 | 3 日分 (9 リットル) 以上 | 75 | 33.8 |
| 4 | 7 日分 (21 リットル) 以上 | 20 | 9.0 |
| | 計 | 222 | 100 |

最も多いのは、「1日分 (3リットル) 以上」と「3日分 (9リットル) 以上」でどちらも33.8%でした。

3日分以上 (7日分以上含む) の水の備蓄をしている方は42.8%でした。

■問3 災害時の備えとして、あなたのご家庭や地域で実践していることを教えてください。あてはまるものを全て選んでください。

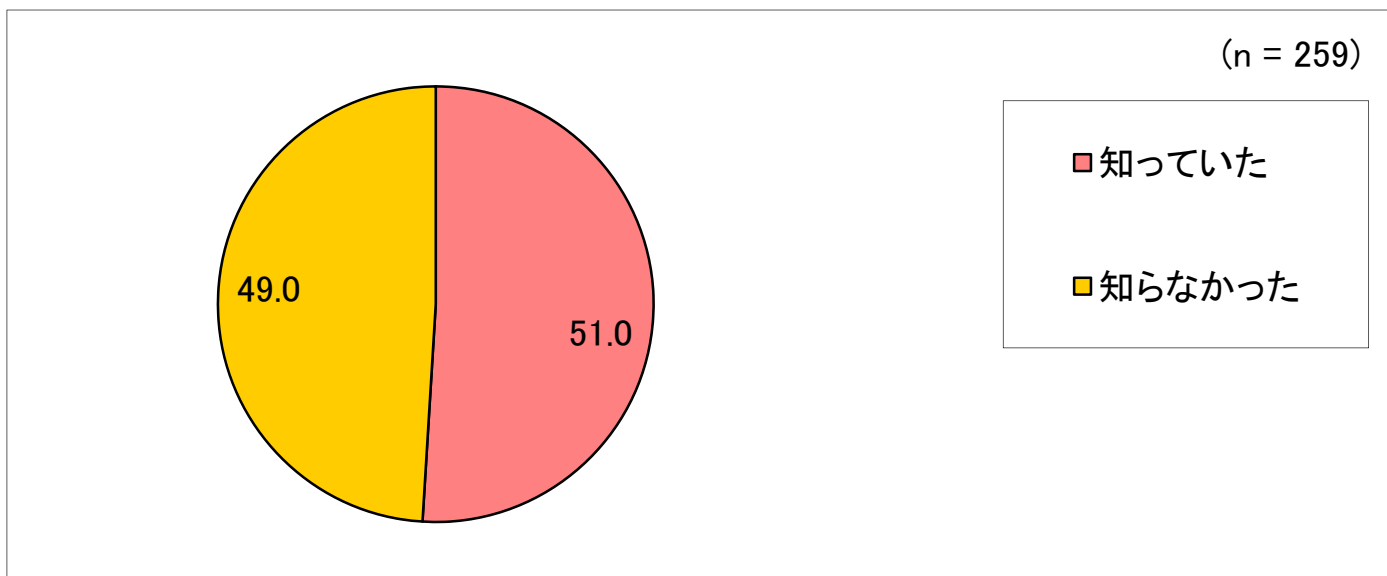


| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|--------------------------------------|-----|------|
| 1 | 食料や飲料水の備蓄 | 192 | 76.2 |
| 2 | 家具の固定 | 114 | 45.2 |
| 3 | ハザードマップなどで、地域の危険性（予想浸水深等）を認識している | 123 | 48.8 |
| 4 | 避難経路や避難場所の確認をしている | 136 | 54.0 |
| 5 | 災害時に情報を入手する準備ができています | 35 | 13.9 |
| 6 | 住民同士で助け合う仕組みや関係作り | 20 | 7.9 |
| 7 | 地域の防災訓練等で、非常用の食料・飲料水・毛布等の備蓄品の確認をしている | 13 | 5.2 |
| | 計 (% ベース) | 252 | 100 |

最も多いのは、「食料や飲料水の備蓄」で、全体の76.2%でした。

次に多いものは、「避難経路や避難場所の確認をしている」が54.0%で、「ハザードマップなどで、地域の危険性（予想浸水深等）を認識している」が48.8%と続きました。

■問4 名古屋市内の広域避難場所や指定避難所などには、災害時に上下水道局職員または応援協定を締結している民間事業者が仮設給水栓を設置し、応急給水を行う「応急給水施設」が設置されていることをご存知ですか？

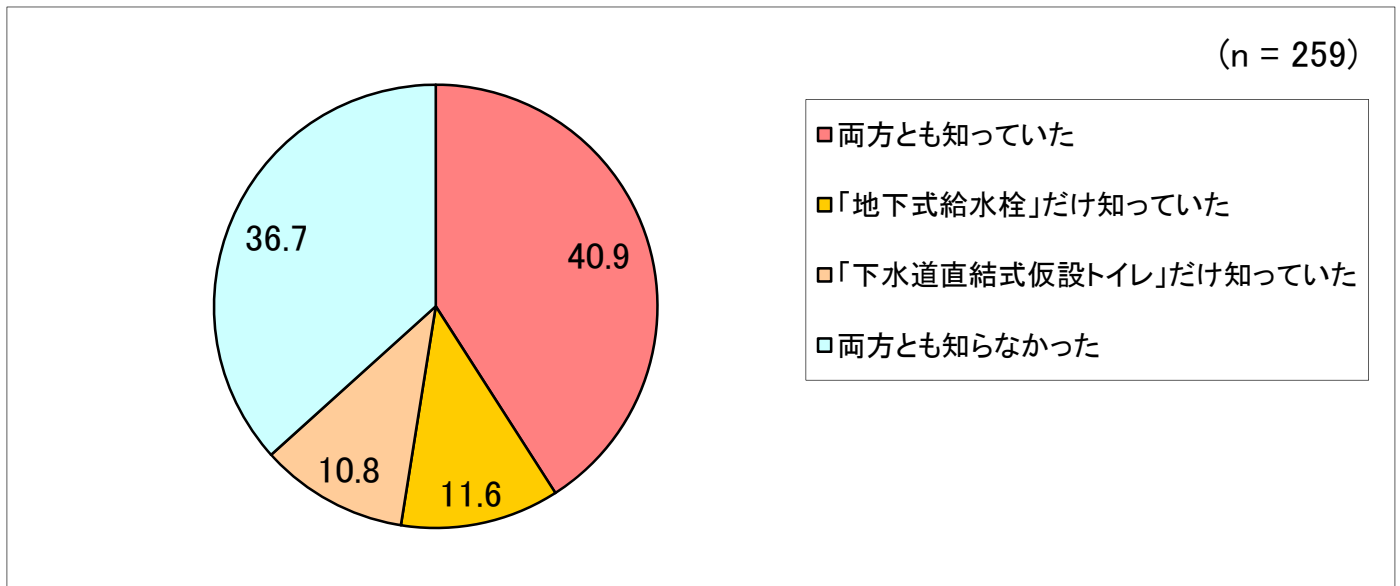


| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|--------|-----|------|
| 1 | 知っていた | 132 | 51.0 |
| 2 | 知らなかった | 127 | 49.0 |
| | 計 | 259 | 100 |

「知っていた」が全体の51.0%で、「知らなかった」が全体の49.0%となりました。

「応急給水施設」の認知度は約半数でした。

■問 5 名古屋市内の全ての市立小中学校には、災害時に地域の皆さまが自ら操作してご利用いただける「地下式給水栓」や「下水道直結式仮設トイレ」が設置されていることをご存知ですか？

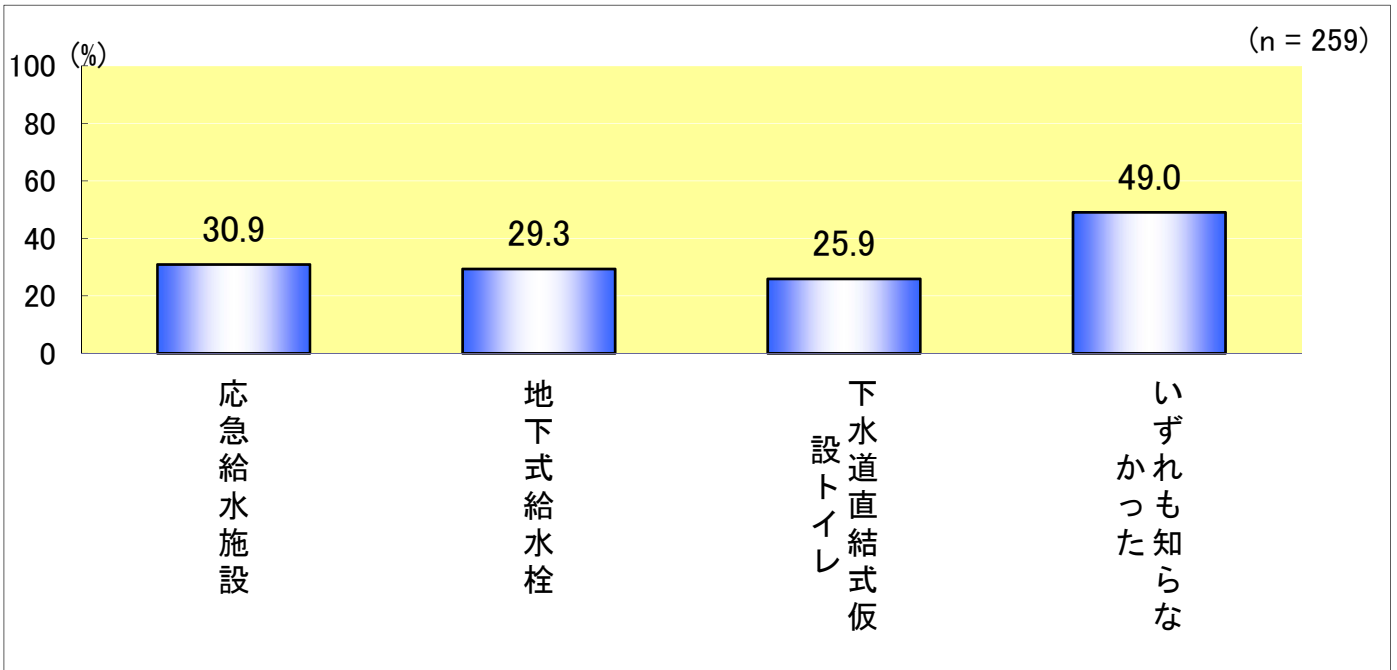


| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|----------------------|-----|------|
| 1 | 両方とも知っていた | 106 | 40.9 |
| 2 | 「地下式給水栓」だけ知っていた | 30 | 11.6 |
| 3 | 「下水道直結式仮設トイレ」だけ知っていた | 28 | 10.8 |
| 4 | 両方とも知らなかった | 95 | 36.7 |
| | 計 | 259 | 100 |

最も多いのは、「両方とも知っていた」で、全体の40.9%でした。
次に多いのは、「両方とも知らなかった」で、全体の36.7%でした。

「地下式給水栓」を知っている方（両方とも知っている方を含む）は、52.5%で
「下水道直結式仮設トイレ」を知っている方（両方とも知っている方を含む）は、51.7%と
どちらの認知度も約半数でした。

■問6 ご自宅や職場近くの「応急給水施設」「地下式給水栓」「下水道直結式仮設トイレ」の場所をご存知のものはありますか？あてはまるものを全て選んでください。



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-------------|-----|------|
| 1 | 応急給水施設 | 80 | 30.9 |
| 2 | 地下式給水栓 | 76 | 29.3 |
| 3 | 下水道直結式仮設トイレ | 67 | 25.9 |
| 4 | いずれも知らなかった | 127 | 49.0 |
| | 計 (% ベース) | 259 | 100 |

最も多いのは、「いずれも知らなかった」で、全体の49.0%でした。

「応急給水施設」「地下式給水栓」「下水道直結式仮設トイレ」の認知度はいずれも約半数でしたが（問4、問5より）ご自宅や職場近くの場所までご存知の方は、「応急給水施設」30.9%「地下式給水栓」29.3%「下水道直結式仮設トイレ」は25.9%と、いずれも3割弱でした。

常設給水栓（応急給水施設）

応急給水センターなどの上下水道局施設内に設置してあります。
災害時には局職員が施設を開放し、市民のみなさまへ給水します。



常設・仮設給水栓は、

この看板が目印です



仮設給水栓（応急給水施設）

広域避難場所や避難所などに設置してあります。
災害時には局職員が出勤し、仮設給水栓を設置し、市民のみなさまへ給水します。



地下式給水栓（応急給水施設）

災害時に地域のみなさま自ら操作していただくことで、飲料水を確保するための設備となります。
名古屋市内の全ての市立小中学校に整備されており、使用する際の必要な器具は、小中学校に保管してあります。



地下式給水栓は、

応急給水施設（地下式給水栓）
Water Supply for Emergency

この施設は、地震などの災害でこの小学校の水が出ないときに、避難した方が自ら操作して、給水できる設備です。
この施設を利用するための用具は、東の倉庫(例)にあります。



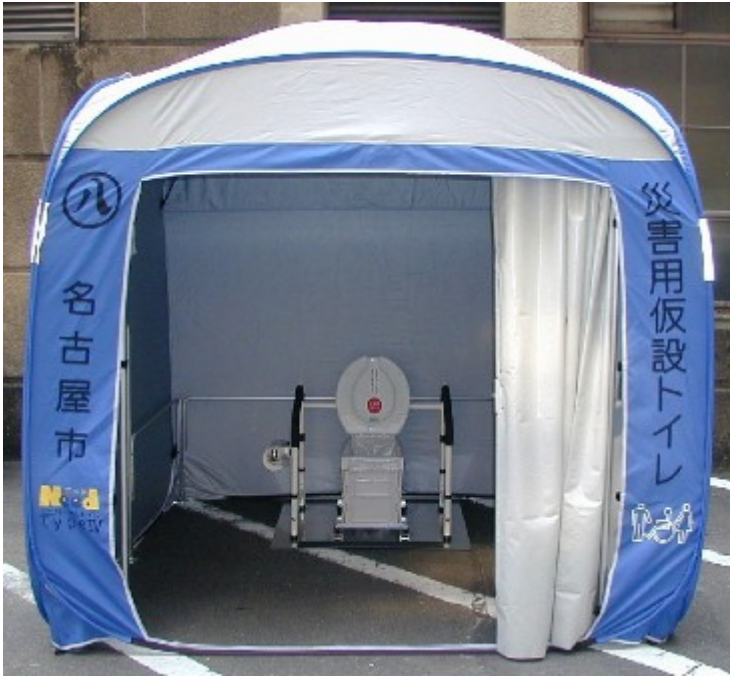
この看板が目印です

下水道直結式仮設トイレ

災害時には地域のみなさま自ら設置していただくことで、避難所のトイレの不足を補うための設備となります。

《上下水道局では》避難所周辺に下水道直結式仮設トイレが設置できるようにマンホールの整備を進めています。

《環境局では》下水道直結式仮設トイレ本体について、各避難所に備蓄保管できるよう整備を進めています。



下水道直結式仮設トイレは、

このマンホールが
目印です



名古屋市上下水道局公式ウェブサイト「いざという時、水やトイレはここにあります」

(<http://www.water.city.nagoya.jp/category/shisetsu/1527.html>)



災害時に役立つ施設の検索

大規模地震の発生が危惧されておりますが、地震などの災害が起こった時に水を確保できる施設やトイレがどこにあるのかなど、「いざ」という時に役立つ情報を「名古屋市上下水道局公式ウェブサイト」で紹介しています。

トップページより、防災（地震・浸水・濁水）の「災害時に役立つ施設の検索」をクリックしてください。

「災害時に役立つ施設の検索」では、地図・住所・郵便番号から検索が可能です。
施設名（常設給水栓、仮設給水栓、地下式給水栓、仮設トイレ）を選択して検索も可能です。

地図から検索

施設名を選択後、地図上の区、町名をクリックしてください。

-  常設給水栓  仮設給水栓  地下式給水栓  WC 仮設トイレ
  利用できる施設のみ



住所で検索

※町以下を指定する場合は正しい住所で入力ください。

選択してください

郵便番号から検索

半角数字で入力して下さい。
郵便番号を入力してください。

※官公庁、大学、市役所、大手メーカーの工場などで郵便番号が"xxx-85xx"の場合は、「地図から検索」もしくは「住所で検索」から検索してください。

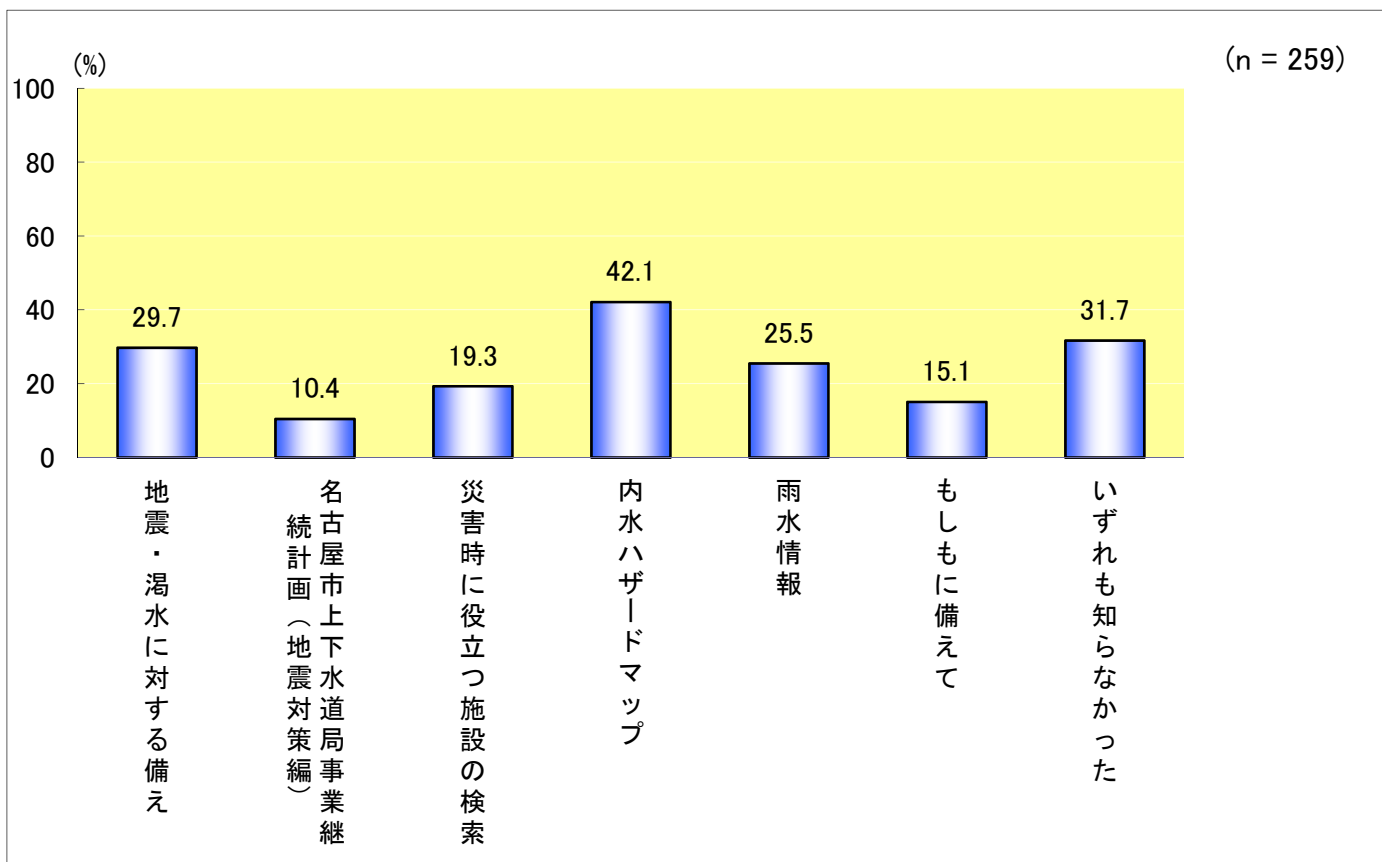
郵便番号:

名古屋市上下水道局公式ウェブサイト「災害時に役立つ施設の検索」

(<http://www.water.city.nagoya.jp/subsys/emergency/>)

名古屋市上下水道局 平成 29 年度第 3 回上下水道モニターアンケート結果（公開用）

■問7 上下水道局公式ウェブサイトでは、以下の防災情報をご提供していますが、ご存知のものはありますか？あてはまるものを全て選んでください。



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|------------------------|-----|------|
| 1 | 地震・湧水に対する備え | 77 | 29.7 |
| 2 | 名古屋市上下水道局事業継続計画（地震対策編） | 27 | 10.4 |
| 3 | 災害時に役立つ施設の検索 | 50 | 19.3 |
| 4 | 内水ハザードマップ | 109 | 42.1 |
| 5 | 雨水情報 | 66 | 25.5 |
| 6 | もしもに備えて | 39 | 15.1 |
| 7 | いずれも知らなかった | 82 | 31.7 |
| | 計 (% ベース) | 259 | 100 |

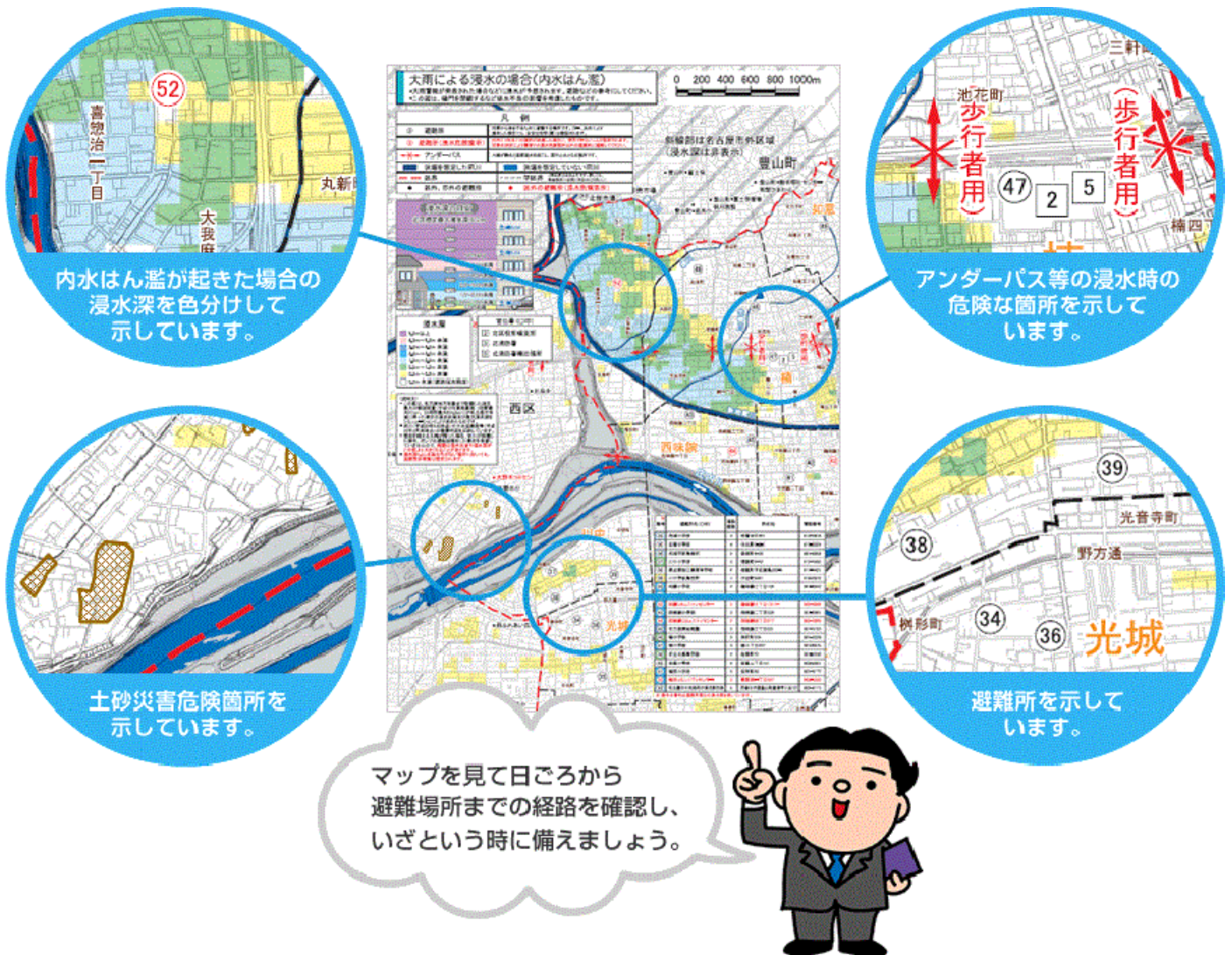
最も多いのは、「内水ハザードマップ」で、全体の42.1%でした。
次に多いのは、「いずれも知らなかった」で、全体の31.7%でした。

内水ハザードマップとは

雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できなくなり浸水することがあります。このような現象を「内水はん濫」といいます。

内水ハザードマップを活用して、いざという時の避難行動についてあらかじめ確認して家族で話しあっていただくなど、日ごろから災害に備えてもらうことを目的として、浸水が想定される範囲や、避難場所等に関する情報を図示したものです。

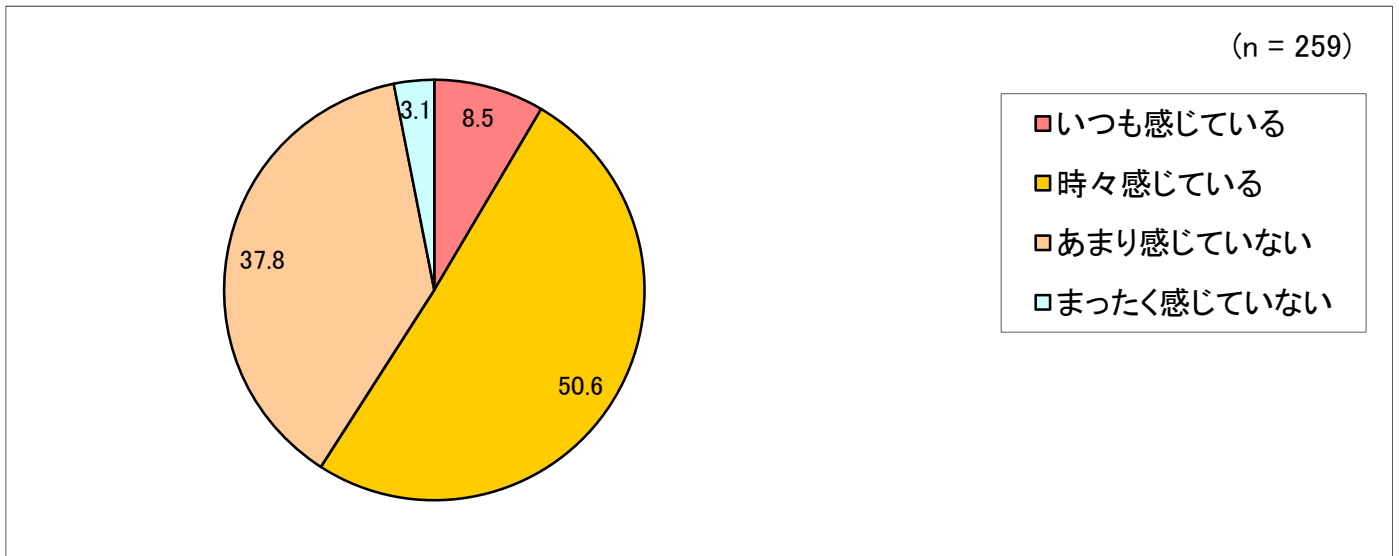
内水ハザードマップの見方



名古屋市上下水道局公式ウェブサイト「内水ハザードマップ」

http://www.water.city.nagoya.jp/category/inland_waters/10184.html

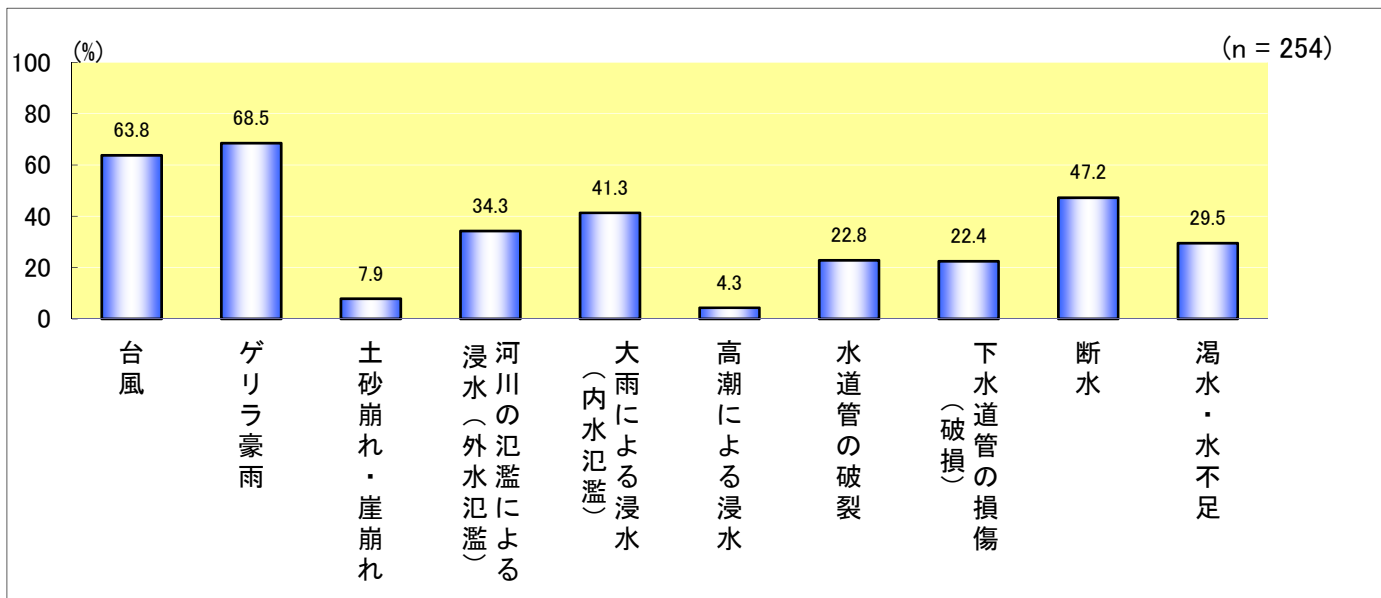
■問8 あなたは日々の生活の中で、水による災害が起こることに不安を感じていますか？



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|------------|-----|------|
| 1 | いつも感じている | 22 | 8.5 |
| 2 | 時々感じている | 131 | 50.6 |
| 3 | あまり感じていない | 98 | 37.8 |
| 4 | まったく感じていない | 8 | 3.1 |
| | 計 | 259 | 100 |

最も多いものは、「時々感じている」で、全体の50.6%でした。
次に多いのは、「あまり感じていない」で、全体の37.8%でした。

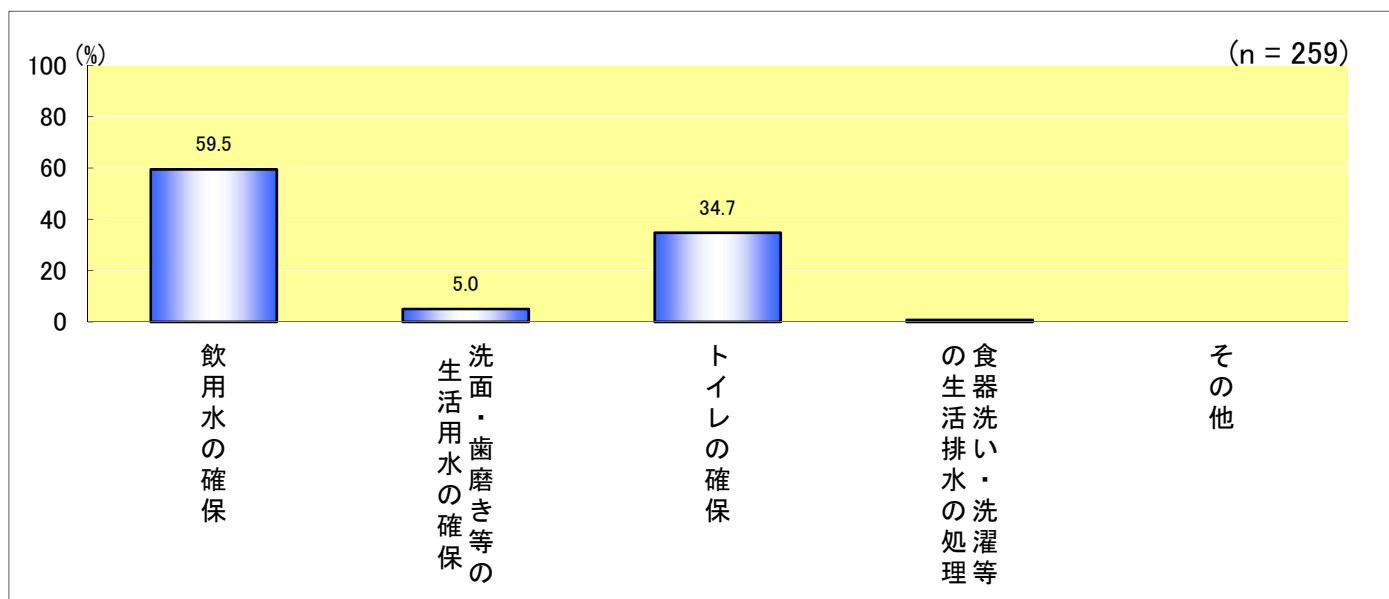
■問9 あなたが日々の生活の中で不安に感じている水に関する災害や問題はなんですか？あてはまるものを全て選んでください。



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-------------------|-----|------|
| 1 | 台風 | 162 | 63.8 |
| 2 | ゲリラ豪雨 | 174 | 68.5 |
| 3 | 土砂崩れ・崖崩れ | 20 | 7.9 |
| 4 | 河川の氾濫による浸水 (外水氾濫) | 87 | 34.3 |
| 5 | 大雨による浸水 (内水氾濫) | 105 | 41.3 |
| 6 | 高潮による浸水 | 11 | 4.3 |
| 7 | 水道管の破裂 | 58 | 22.8 |
| 8 | 下水道管の損傷 (破損) | 57 | 22.4 |
| 9 | 断水 | 120 | 47.2 |
| 10 | 渇水・水不足 | 75 | 29.5 |
| | 計 (% ベース) | 254 | 100 |

最も多いものは、「ゲリラ豪雨」で全体の68.5%でした。
次に多いのは、「台風」で全体の63.8%でした。

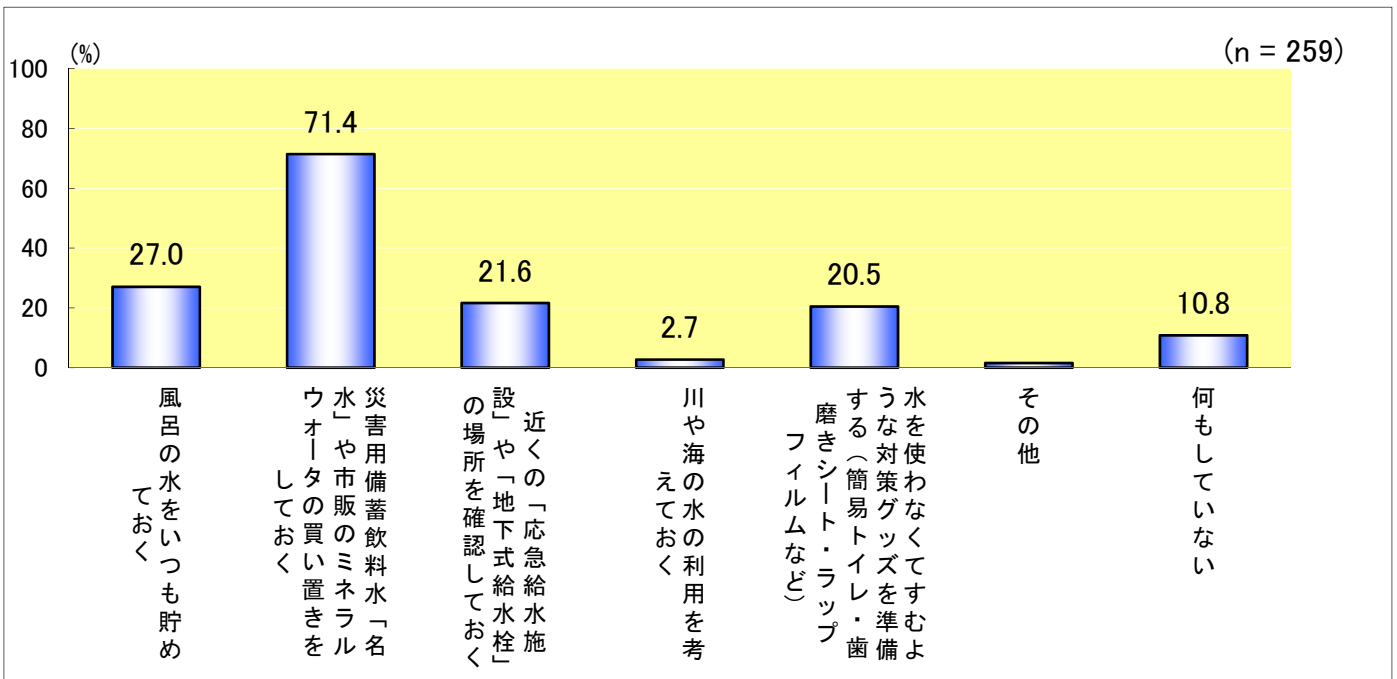
■問10 地震等の災害が起きた時、上下水道に関してあなたがもっとも心配しているのは次のうちどれですか？最もあてはまるものを一つ選んでください。



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|------------------|-----|------|
| 1 | 飲用水の確保 | 154 | 59.5 |
| 2 | 洗面・歯磨き等の生活用水の確保 | 13 | 5.0 |
| 3 | トイレの確保 | 90 | 34.7 |
| 4 | 食器洗い・洗濯等の生活排水の処理 | 2 | 0.8 |
| 5 | その他 | 0 | 0.0 |
| | 計 | 259 | 100 |

最も多いものは、「飲用水の確保」で全体の 59.5%でした。
次に多いのは、「トイレの確保」で全体の 34.7%でした。

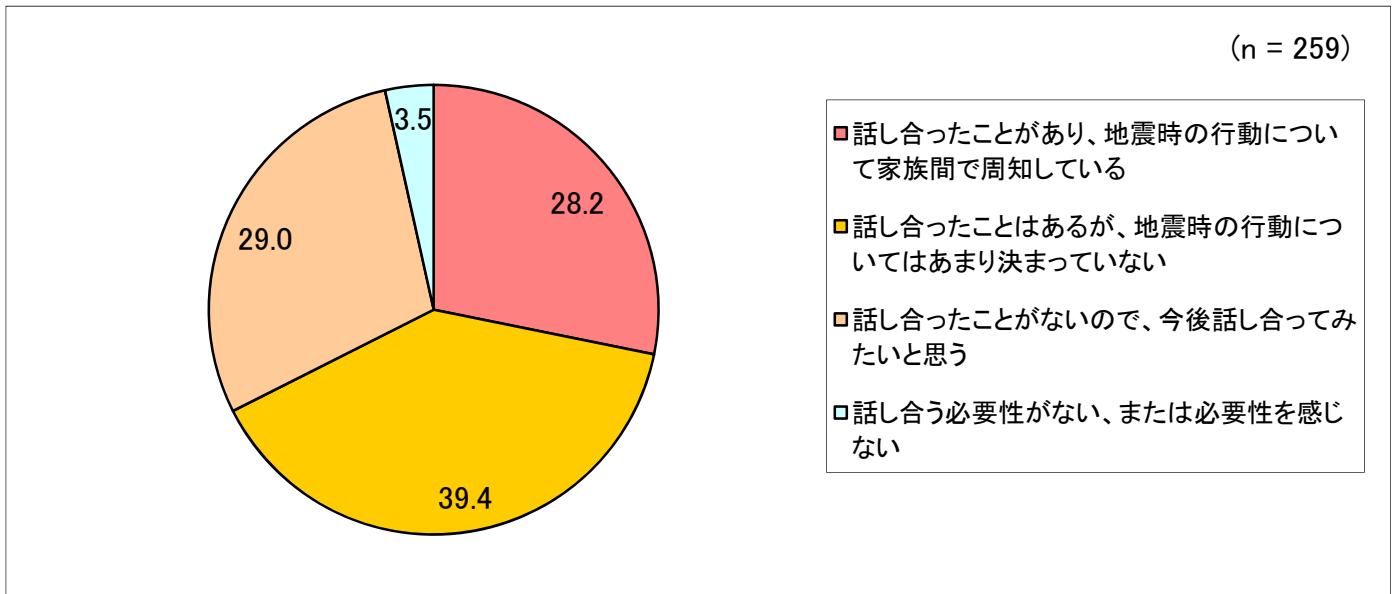
■問11 地震等の緊急時に対し、普段どのような水の備えをしていますか？あてはまるものを全て選んでください。



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|--|-----|------|
| 1 | 風呂の水をいつも貯めておく | 70 | 27.0 |
| 2 | 災害用備蓄飲料水「名水」や市販のミネラルウォーターの買い置きをしておく | 185 | 71.4 |
| 3 | 近くの「応急給水施設」や「地下式給水栓」の場所を確認しておく | 56 | 21.6 |
| 4 | 川や海の水の利用を考えておく | 7 | 2.7 |
| 5 | 水を使わなくてすむような対策グッズを準備する（簡易トイレ・歯磨きシート・ラップフィルムなど） | 53 | 20.5 |
| 6 | その他 | 4 | 1.5 |
| 7 | 何もしていない | 28 | 10.8 |
| | 計 (% ベース) | 259 | 100 |

最も多いものは、「災害用備蓄飲料水「名水」や市販のミネラルウォーターの買い置きをしておく」で全体の71.4%でした。

■問12 あなたのご家庭では、地震が起きた時の家族との連絡手段や、どの避難所に集合するか等を話し合ったことはありますか？



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-----------------------------------|-----|------|
| 1 | 話し合ったことがあり、地震時の行動について家族間で周知している | 73 | 28.2 |
| 2 | 話し合ったことはあるが、地震時の行動についてはあまり決まっていない | 102 | 39.4 |
| 3 | 話し合ったことがないので、今後話し合ってみたいと思う | 75 | 29.0 |
| 4 | 話し合う必要性がない、または必要性を感じない | 9 | 3.5 |
| | 計 | 259 | 100 |

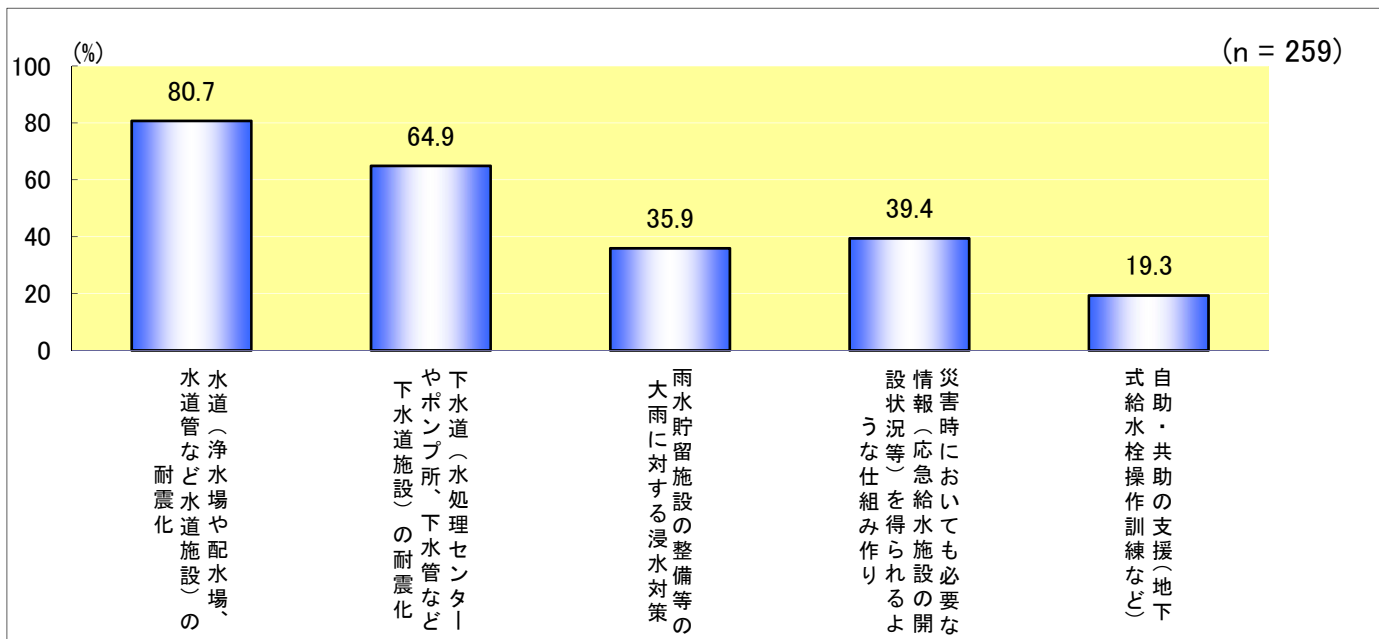
最も多いものは、「話し合ったことはあるが、地震時の行動についてはあまり決まっていない」で全体の39.4%でした。

次に多いのは、「話し合ったことがないので、今後話し合ってみたいと思う」が全体の29.0%で、「話し合ったことがあり、地震時の行動について家族間で周知している」が全体の28.2%でした。

「話し合う必要性がない、または必要性を感じない」は3.5%であり、必要性については96.5%と多くの人が感じていました。

実際に話し合ったことがある人は67.6%と7割近いですが、「地震時の行動についてはあまり決まっていない」が39.4%と4割近い結果でした。

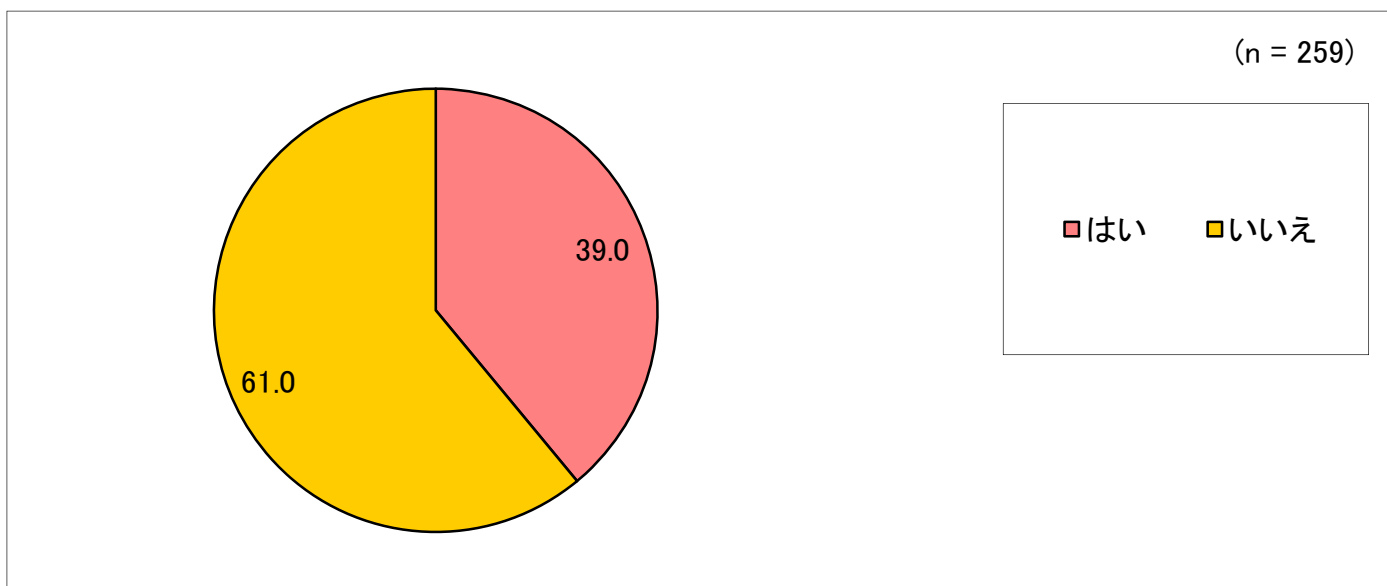
■問13 上下水道事業の防災対策に関して、あなたが進めて欲しい対策はなんですか？3つまで選んでください。



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|--|-----|------|
| 1 | 水道（浄水場や配水場、水道管など水道施設）の耐震化 | 209 | 80.7 |
| 2 | 下水道（水処理センターやポンプ所、下水管など下水道施設）の耐震化 | 168 | 64.9 |
| 3 | 雨水貯留施設の整備等の大雨に対する浸水対策 | 93 | 35.9 |
| 4 | 災害時においても必要な情報（応急給水施設の開設状況等）を得られるような仕組み作り | 102 | 39.4 |
| 5 | 自助・共助の支援（地下式給水栓操作訓練など） | 50 | 19.3 |
| | 計 (% ベース) | 259 | 100 |

最も多いものは、「水道（浄水場や配水場、水道管など水道施設）の耐震化」で全体の80.7%でした。次に多いのは、「下水道（水処理センターやポンプ所、下水管など下水道施設）の耐震化」で全体の64.9%でした。

■問14 あなたは最近1年間において、上下水道局の災害対策に関する情報を目にしましたか？
(上下水道モニターとして得た情報を除きます。従って、メールマガジン「名水レター」で得た情報は除いてください)



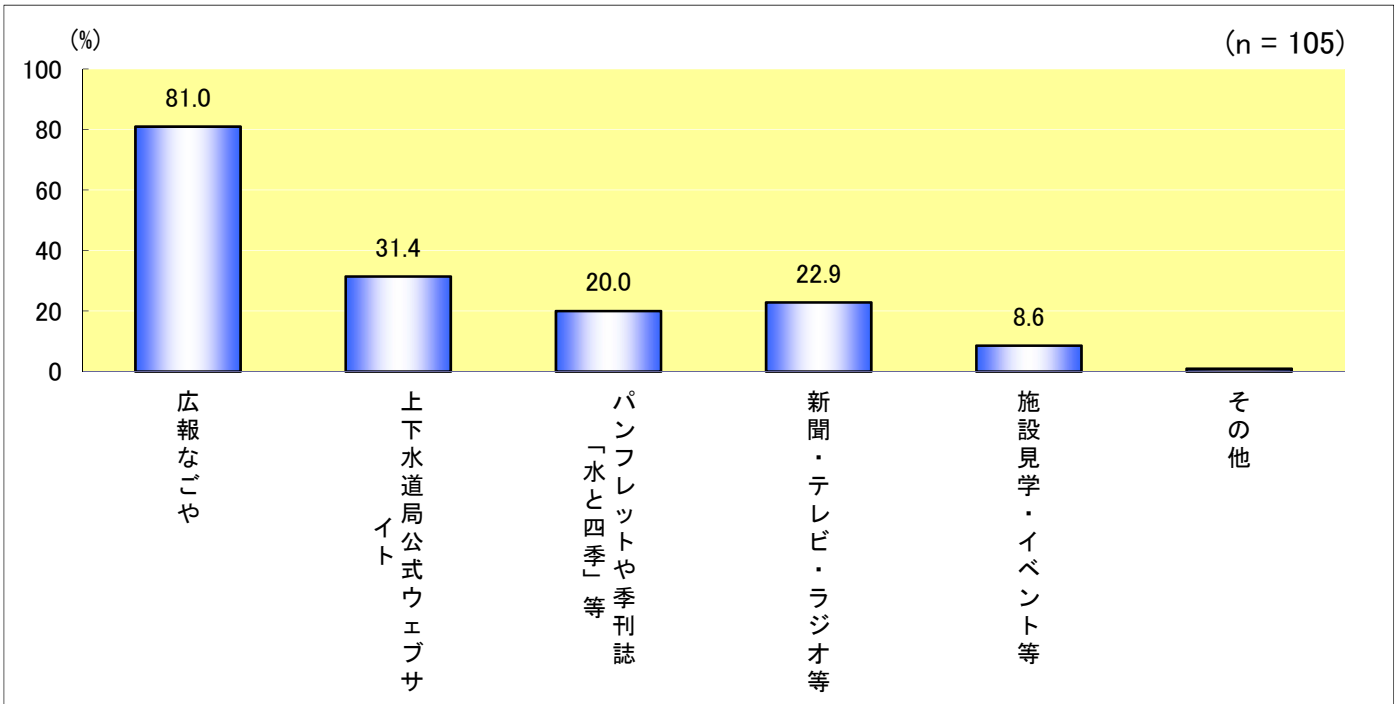
| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-----|-----|------|
| 1 | はい | 101 | 39.0 |
| 2 | いいえ | 158 | 61.0 |
| | 計 | 259 | 100 |

最も多いものは、「いいえ」で全体の61.0%でした。

「はい」は、全体の39.0%でした。

上下水道モニター活動以外で、最近1年間において、上下水道局の災害対策に関する情報を目にした方は、約4割との結果でした。

■問15 問14で「はい」を選択された方にお伺いします。その情報は、どのような形で目にしましたか？



| No. | 選択肢 | 実数 | % |
|-----|-------------------|-----|------|
| 1 | 広報なごや | 85 | 81.0 |
| 2 | 上下水道局公式ウェブサイト | 33 | 31.4 |
| 3 | パンフレットや季刊誌「水と四季」等 | 21 | 20.0 |
| 4 | 新聞・テレビ・ラジオ等 | 24 | 22.9 |
| 5 | 施設見学・イベント等 | 9 | 8.6 |
| 6 | その他 | 1 | 1.0 |
| | 計 | 105 | 100 |

最も多いものは、「広報なごや」で全体の81.0%でした。

これは、上下水道モニターの募集を「広報なごや」で知った方が84.3%（平成28年度第1回上下水道モニターアンケートの間15より）であるため、「広報なごや」をご覧になっている上下水道モニターの方の割合が高いことも関係していると思われます。

次に多いのは、「上下水道局公式ウェブサイト」で全体の31.4%でした。

■問16 上下水道局の防災対策に関して、ご意見などがありましたらお聴かせください。

広報について

イベントでのPR活動など、よく目にします。今後もインパクトのあるわかりやすい展示等お願いします。

情報を自身で取れる人は大丈夫ですが、自身で情報を得られない人には身近に例えば主婦が行くスーパーなどで何かしらか情報をわかりやすく提供していただけるとありがたいです。

色々と対策をなさっているようですが隅々まで周知されていないようで残念です。

身近な地域の情報をわかりやすく広報してほしい。

上下水道の災害が市民にとって身近であることを知らせる事が重要です。

災害時の対応について、広報なごやなどでもっともっと広報してください。

モニターをしていなければ、全く上下水道の情報に触れていないことに気づきました。名古屋市外へ通勤しているからかも知れませんが、より一層の広報が必要だと感じます。

防災対策の取り組み等をもっと知ってもらえるように広報の方法を広げていってほしいです。

名古屋市の広報に毎回防災対策に関する情報を読者に目にしやすい形で提供してください。広報には他にも多くの情報が掲載されているので興味のない人には読まれず埋もれてしまう危険あり。

施設見学会など、市民が気軽に参加できるイベントを増やしてほしい。

もっと多くの人に知ってほしい。

インターネットばかりでなく、その他の手段でも情報発信してくれればありがたいです。

各区単位での詳細な対策広報を実施してほしい。

広報なごやは、いつも見っていますが、上下水道局さんの記事は印象に残ってなく、目立たないのではないかと思います。災害時には、重要な部門だと思いますが、つい忘れがちです。日頃から、また、いざというときにも高齢者にもわかりやすい情報が提供されるといいと思います。

災害時に給水車がどこに来るのか、などよくわかっていないので、広報なごやなどで告知をしてほしい。

災害が起きた時の対策例を示して欲しい。それに基づき対策を考えたいと思います。

災害認識を深めるためにも自己責任についてもっと認識を持つようPRしていきべきである。

広報なごやで情報を共有してってください。

子どもが興味を持てるよう、マンガ等の親しみやすい啓発方法を増やしてほしい。

ぱっと見て、わかるような情報提供をしてほしい。わざわざネットで検索しないと見れないような情報だと、目にする人は少ないと思う。お年寄りや子供にもわかりやすい表示のものを、広告などで知らせていただければと思います。

耐震化工事が完了したとか、給水施設の場所とかを折に触れて何度でも広報なごやとかの自治体の施設において（福祉会館、学習センター）とかで知らせてほしいと思います。

場所柄「土砂災害」や「浸水」の被害を受けずらいせいか、普段はなかなか自分から上下水道についての防災情報を得ることはありません（目にする機会も少ないも）しかし、先日の台風による堺市？のようなこともあるので、必要だとは思いました。

身近に感じるようもっと宣伝してほしい

災害用備蓄飲料水「名水」について

最近、イベント等に上下水道局が新しくなった名水の見本提供が少なくなったように思う。イベント等で無料配布をもっとやってほしい。それが備蓄につながると思う。また、この前のロボカップで名水が提供されていたが、熱い中で作業している外国のスタッフに、箱から出したぬるい名水の提供は如何なものかと思う。名水の存在が、日本の震災の心掛けろ示すものと思っています。

名水をスーパーなどで手に入るようにしてほしいです。

名水を通年販売して頂けると助かります。

防災訓練について

小さな地域ごとに住民が参加しやすい細かな訓練を数多く実施していただきたく思います。

小学生高学年にも、地下式給水栓操作訓練ができる機会があるといいと思っています。社会見学や職場体験で上下水道局とのかかわりがあるときには、教えてもらいたいです。大人が全滅した時に子供だけでも生き延びれるように、自分たちでも自助できる気持ちを教えたいです。

各自治体（町内会ベースで）への講習会の開催や防災の日でのPR活動をもっともっと推進してほしい。

耐震化・老朽化対策について

古い水道管があるかもしれないことが心配です。うちの周辺は大丈夫なのかな

上下水道の耐震化をお願いします。

台風や大雨に対する対策ももちろんですが、水道管や下水管の老化対策も気がかりなところ。積極的な情報発信をして頂けるとありがたいです。

今住んでいるところの水道管や下水管の耐久性がどの位あるのか。分からないのが不安材料だと思います。何で調べればわかるのですか？

予算、人員等事情もあると認識していますが水道管、下水管等経年数の老化がきになります。

地中にある下水道管は、たぶん古いと思われるので地震に対しては耐震強度は弱いと思う。よくニュースで破裂、断裂して水が吹き上がっている光景を目にする。そういう事のないように耐震化を優先的に進めてほしい。水が生命の源。

浸水対策について

今後も東海豪雨のときの経験を生かしてください。

名古屋豪雨以来、家の前の道路は対策をしていただき、水はけがよくなりました。向かい駐車場や会社などで無人で、排水溝の型も古いので落ち葉や土で詰まってしまうこともあります。予算も少なく大変だと思いますが、変更していけるようにがんばってください。

年々ゲリラ豪雨が増えてきているので、そういった集中豪雨にも対応できる設備を検討してほしい。

ゲリラ豪雨に備えポンプ所施設の増強。

ゲリラ豪雨の水はけの問題が場所により深刻

交差点付近に水がたまらない工事がされてきていると思う。上下水道局の管轄でないかもしれませんが、局の垣根なく、排水に関する工事はどんどん進めて欲しい。

名古屋市中心部などの下水処理は、雨水と排水が同じ下水管に集まる構造のため、少し雨が降っただけでも、下水の処理能力を超え、未処理のまま堀川等の河川に流れると聞いた。配管を別にするには大変な工

事が想定されるが、下水の処理能力を高めることにより、少しでも処理率を向上し、河川や海の浄化につなげられないものでしょうか？

天白川の氾濫が過去にあり、大雨が降るとつい歩いて水位を確認しに行きます。心配で眠れないときもあります。整備状況がわかるといいなといつも思います。

その他、全般について

民間企業なども巻き込んで、上下水道局だけに頼らない防災対策を期待しています。水道局のマンパワーだけでは申し訳ないです。

行政の皆さんの努力は大きいと思いますが、いざとなったら自分たちで頑張る気構えが必要です。飲料水やトイレが心配ですが、非常時に活用できる知恵を、もっと知りたいです。

水道料金が上がると生活が困難になる為、水道料金が上昇しない範囲内で防犯対策を継続して欲しい

上下水道がストップするのが電気・ガスより一番市民生活に影響が出ると思います。万一の場合をいつも想定して頂きたいと願っています。

異常気象による災害が全国で起こっています。ここ1年は幸いにも名古屋市に大きな被害はありませんが、いつ我が身に起こるかも知れません。一人一人が備えをし、市には万全の防災対策を期待します。

防災対策に関して、日夜お骨折りいただきありがとうございます。それでも、改善すべき点、見直さなくてはならない点など多々あることと思います。どうぞ今後とも市民のためにご尽力くださいますようお願いいたします。

実家で阪神大震災を経験しました。水道が復旧して蛇口から水が出たときは感動しました。今は当時より災害時の対策が取られていると思います。いつも大切な働きをされていることに感謝しています。

このアンケートを基に、再度防災対策を確認する事が必要と考えます。

災害時も安全な水を供給して頂けるようお願いしたい。

地震の時に役に立つようしてほしい

だいぶ防災に対して対策が進んで来たが まだまだとおもう

災害時のトイレ問題がとても心配です。

災害時水だけの確保だけしか考えていなかったのこれから改めて家族と話し合いをしてみようと思いました。

私たちの住んでいるところは、内水氾濫も外水氾濫も大丈夫です。そのかわり水不足には弱いのではないかなと思います。水は命に係わる大切な生活必需品です。地震などの災害時には水道や下水道で心が不安になるのではないかな？と思います。ならないためにも今以上、日頃から飲料水の確保、生活排水の対策に心を配りたいと思っています。

私が住んでいる団地は、高台にあるため、水害や津波の心配はありません。避難所も近くの小学校なので、選挙のたびに投票に行っており、場所も確認しています。ただ、断水だけが心配ですが、名古屋市の対応に期待しています。

上下水の観点からの防災対策に関しては今まであまり関心がなかったの、これを機会に意識するようにしたい。

このアンケートで気が付いたことですが、近くの応急給水施設を確認してみます。

災害が起きた時の応急施設などの場所についてどこでわかりますか

日々の手厚いご尽力に感謝しております。

| |
|---|
| 特にはありません。いろいろと施策されていると思っています。ありがとうございます。 |
| いつも見えないところで頑張っておっしゃってご苦労様です。毎日おいしい水が飲めるのは本当にありがたいことです。今できる最大限のことはしてくださっていると思います。 |
| おいしい水と生活水を当たり前のように使えるのは、水道局に方々の努力だと感謝します。いざという時は各自の備えも必ず必要だと思うので、市民の意識向上のためにも呼びかけを徹底してほしいと思います。 |
| これからも安全な水をお願いします。 |
| 様々な対策を考えてくださっている印象があります。今後もしっかりと進めていただけるとありがたいです。 |
| 取り組みが非常に良く分かる。 |
| わかりやすいです。 |
| いつもありがとうございます。 |
| 何時もありがとうございます。何事もない事を祈るのみです。特別意見はありません |
| 水こそ命の泉 |